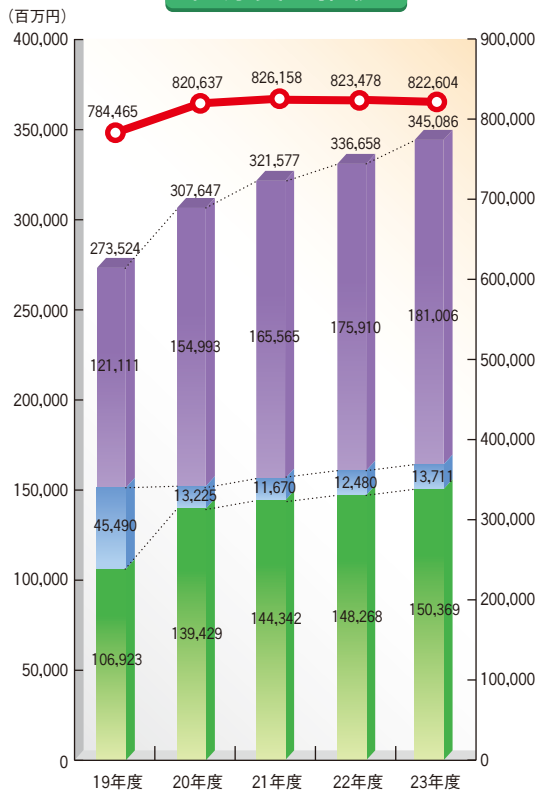


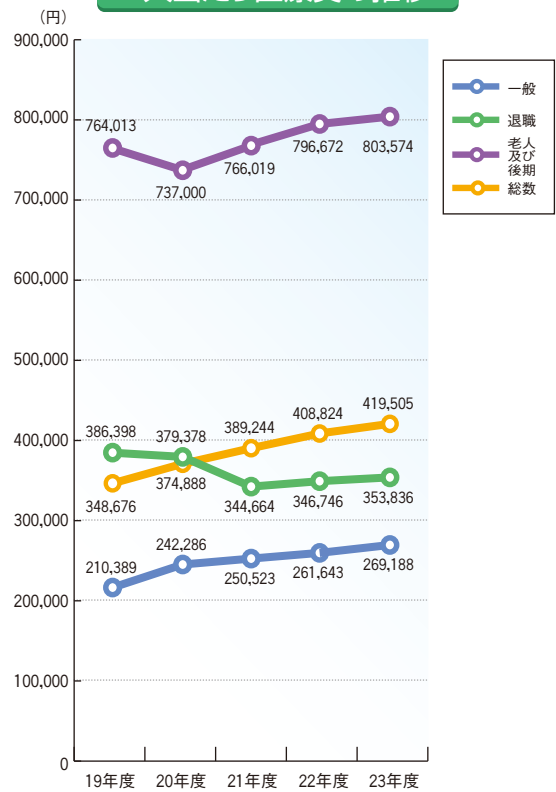
栃 木 県



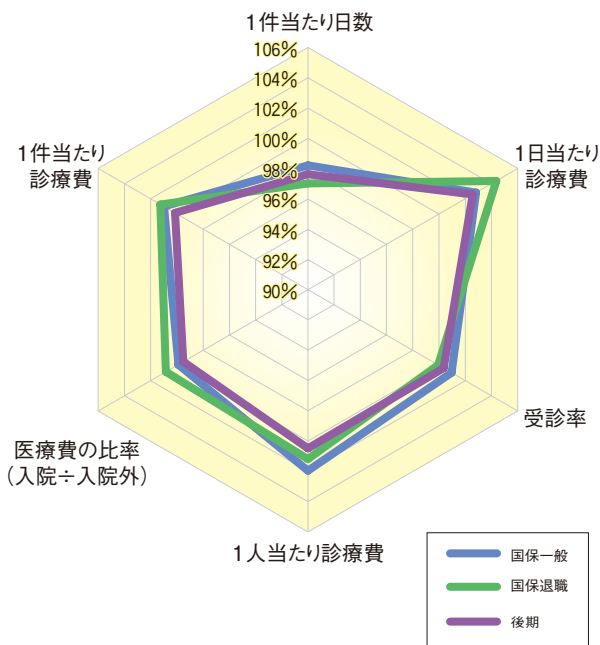
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

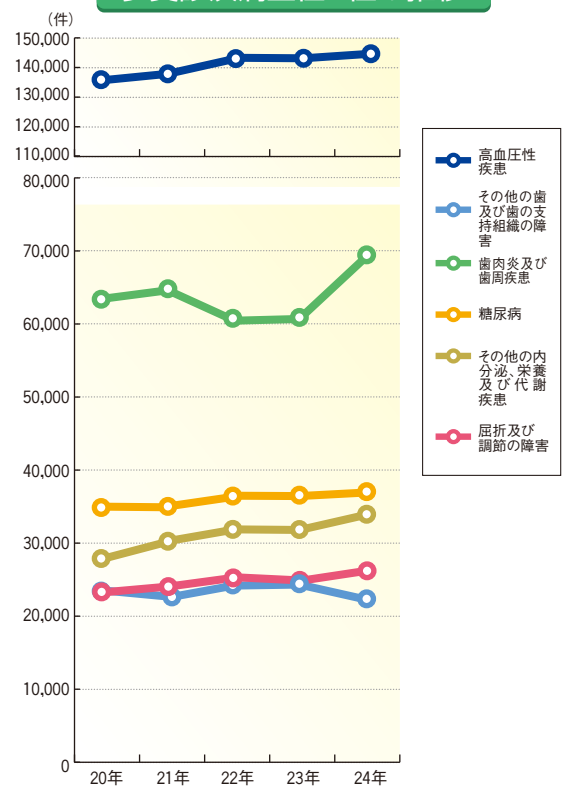


平成23年度 3要素と医療費諸費(前年度比)

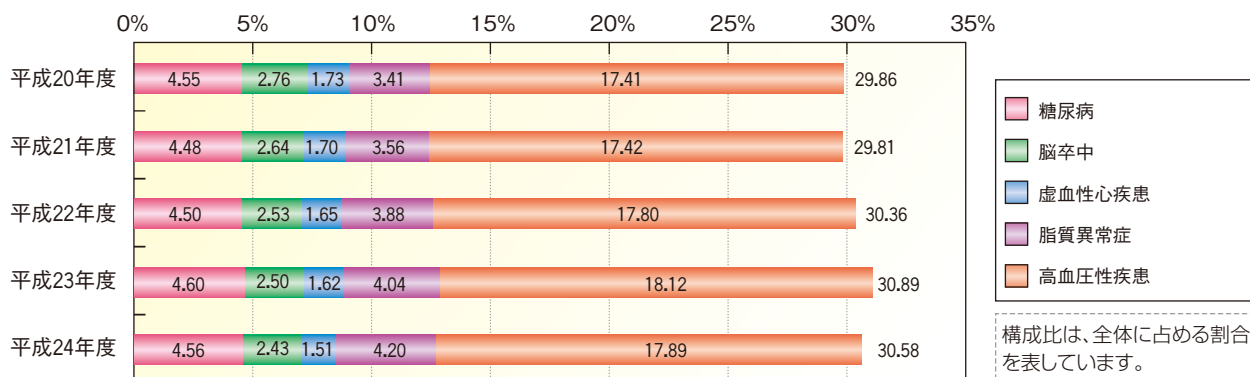


このグラフは、諸率を前年対比して得た値をレーダーチャートにしたものです。

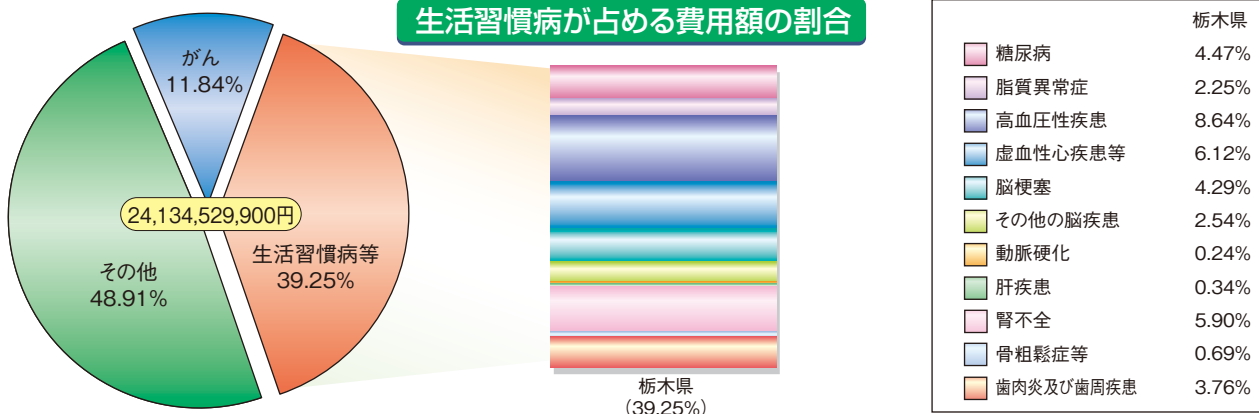
多受診疾病上位6位の推移



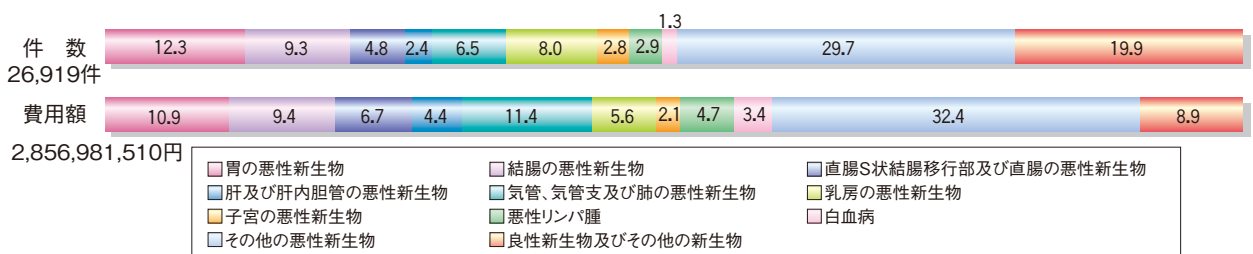
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



栃木県の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般150,369,108千円(101.4%)、退職13,711,130千円(109.9%)、後期181,005,959千円(102.9%)で、全体では345,086,196千円(102.5%)と増加している。()は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は822,604人(99.9%)で、内訳は一般558,603人(98.6%)、退職38,750人(107.7%)、後期225,251人(102.0%)である。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は419,505円(10,681円増)、一般は269,188円(7,545円増)、退職は353,836円(7,090円増)、後期は803,574円(6,902円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の前年度比のレーダーチャートを見ると、一般、退職、後期共に1日当たり診療費の比率が伸びている。一方、1件当たりの日数が減少傾向にあり、一般98.2%、退職97.0%、後期97.6%となっている。

★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも2位の歯肉炎及び歯周疾患は、増加傾向にあり、件数は平成20年度と比べ2.0倍になっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脂質異常症が高く、虚血性心疾患は過去5年で構成比はもっとも低い。

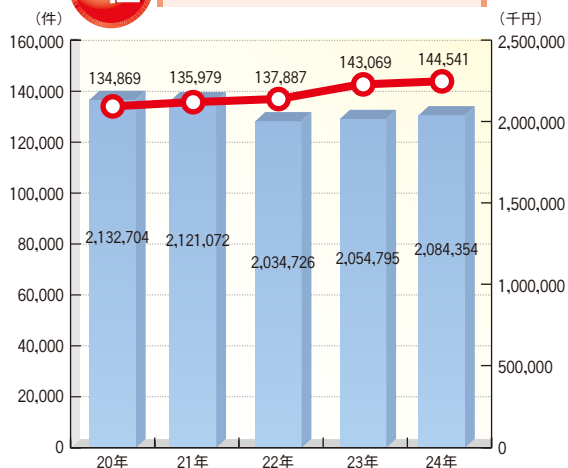
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が24,134,529,900円で、がんが11.84%、生活習慣病関連が39.25%を占めている。生活習慣病関連において占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.64%、虚血性心疾患等6.12%、腎不全5.90%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数・費用額共に、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

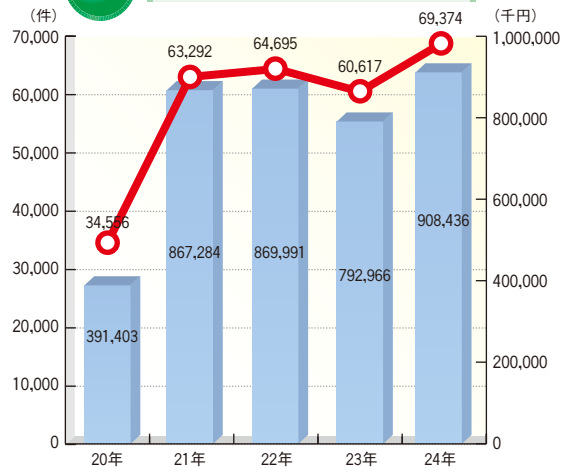
1位

高血圧性疾患



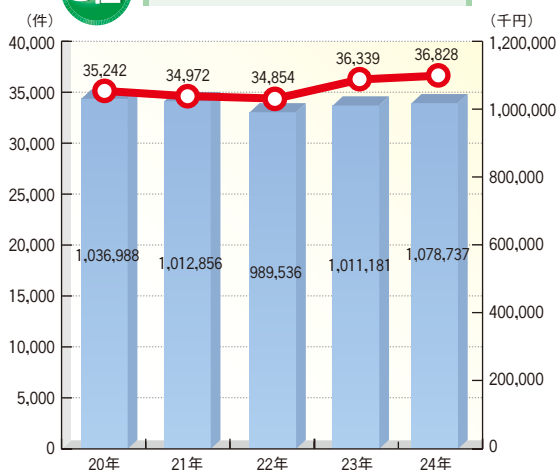
2位

歯肉炎及び歯周疾患



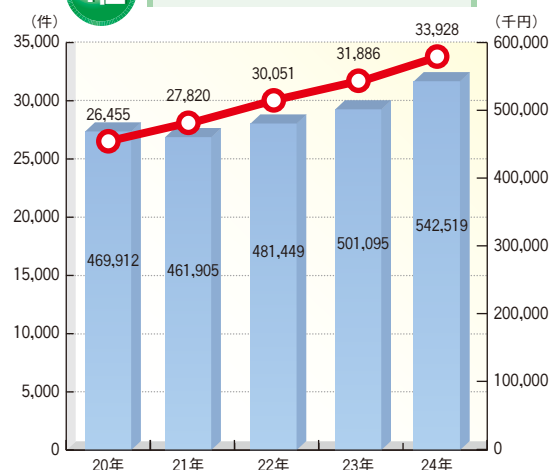
3位

糖尿病



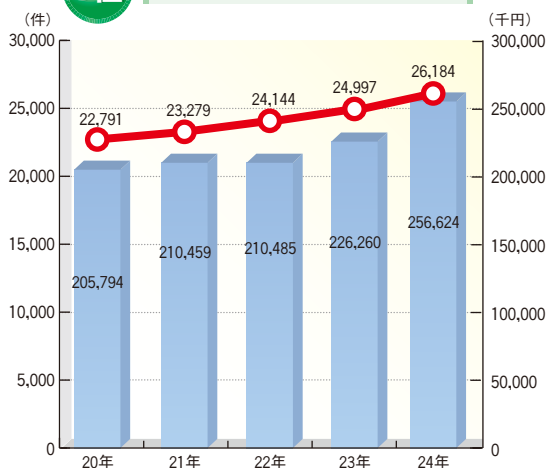
4位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



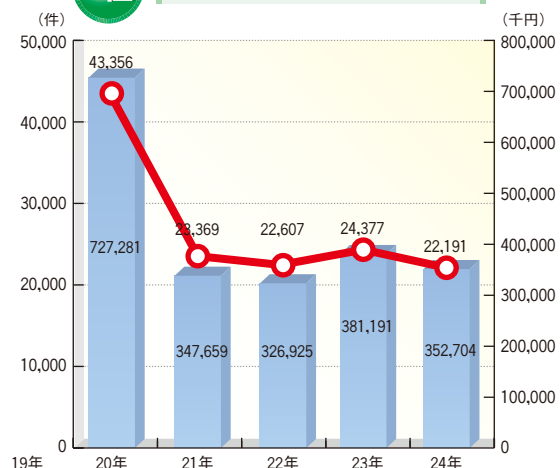
5位

屈折及び調節の障害



6位

その他の歯及び歯の支持組織の障害



受診率と1人当たり診療費の相関図

